

～年頭所感～



執行委員長 亀尾 義幸

新年あけましておめでとうございます。みなさんはどのように新年を迎えられましたでしょうか。本年が、組合員とご家族のみなさまにとって輝かしい1年となりますようご祈念いたします。

昨年を振り返りますと、7月の「平成29年（2017年）九州北部豪雨」など、全国各地で豪雨による被害が発生しました。犠牲になられた方々のご冥福をお祈りするとともに、すべての被災された皆様に心からお見舞い申し上げます。東日本大震災、熊本地震を含め、近年、自然災害は全国各地で増加しています。私たち中国労金労組も、全国の単組・組合員とともにできる限りの支援活動に取り組みました。私たちは、今後も全労金組織9,000名の仲間と「助け合い」「思いやり」「支え合い」の気持ちで力を合わせ、被災地・被災者のみなさんが求める復興・再生に向けて、労働組合の役割を十分に発揮する取り組みを継続していきたいと思っております。

また、昨年は、10月に、第48回衆議院選挙が行われました。安倍・自公政権が進めてきた政権運営に審判を下し、労働者・生活者・国民の雇用や暮らし・憲法を守り、日本のこれからの未来を決定する重要な選挙でした。限られた時間の中で最後まで奮闘していただいた組合員のみなさんに執行委員会を代表して心から敬意を表します。結果は、諸問題を隠すためとしか思えない突然の解散や、民進党の事実上の分裂等の影響もあり、安倍・自公政権の継続を許す結果となりました。私たちは、「誰もが平和で安全に安心して暮らすことができる社会」の実現に向け、引き続き、全国の仲間とともに奮闘していかなければならないことを誓い合いたいと思っております。

まもなく、2018年春季生活闘争も開始します。私たち中国労金労組も、連合方針および全労金中央委員会での方針決定を踏まえ、職場集会等で組合員のみなさまからのご意見をいただきながら、中央委員会の方針決定をしていきたいと考えています。中国ろうきんがおかれている現状は大変厳しいですが、要求貫徹に向けて最後まで団結して闘いましょう。

終わりになりますが、執行部一同、組合員のみなさまと一緒にさまざまな課題に立ち向かっていく所存でございますので、本年も組合活動にご理解とご協力をいただきますよう、よろしく申し上げます。